

保護者等向け

児童発達支援評価表

記入年月日:令和3年 7月

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	1		1	工夫されている
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	21		1	1	OT・PT の配置をしてほしい
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※ i になっているか。また、障がい の特性に応じ、事業所の設備等は、バリア フリー化や情報伝達等への配慮が適切にな されているか	21	1		1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環 境になっているか。また、子ども達の活動に 合わせた空間となっているか	22	1		1	
適切な支 援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、児童発達支援計画※ ii が 作成されているか	21	1		1	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイ ドラインの「児童発達支援の提供すべき支 援」の「発達支援(本人支援及び移行支 援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援 内容から子どもの支援に必要な項目が適切 に選択され、その上で、具体的な支援内容 が設定されているか	21	2			
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われ ているか	22	1			
	8 活動プログラム※ iii が固定化しないよう工 夫されているか	22			1	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障がいのない子どもと活動する機会が あるか	16	3		4	あるのか、わからない
保護者へ の説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説 明がなされたか	23				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支 援の提供すべき支援」のねらい及び支援内 容と、これに基づき作成された「児童発達支 援計画」を示しながら支援内容の説明がな されたか	20	2		1	丁寧な説明がなかった
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペア レント・トレーニング※ iv 等)が行われているか	15	2		6	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの健康や発達の状況、課題につ いて共通理解ができているか	22	1			その訓練に対して、どう反応したのか詳しく 知りたい
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われているか	22	2			問題の対応の仕方が知りたい
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援され ているか	6	5	6	6	出来る日が来るのを楽しみにしている。
16 子どもや保護者からの相談や申入れにつ いて、対応の体制が整備されているとともに、 子どもや保護者に周知・説明され、相談や 申入れをした際に迅速かつ適切に対応され ているか	19	1	1	1	相談しやすい	

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	2			
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	20	1		1	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	19	1		2	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	14	3		5	マニュアルは見たことがない
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	2		5	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	23				毎週楽しみにしている
	23	事業所の支援に満足しているか	22	1			満足している

※ i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※ ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※ iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※ iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....

(保護者の皆様へ)

○この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		長期休暇等に放デイと時間が重なる場合には、活動内容を工夫し、支援にあっている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		長期休暇には、職員を増員して対応している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		スロープの設置、手洗い場や、幼児用トイレの設置などが望まれるが、今ある資源の中で、工夫しながら支援にあっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		子どもたちが、気持ちよく活動できるように、工夫している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		その都度、または朝の申し送り時に情報共有している。目標と振り返りを行い、職員の情報共有を行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者の皆様に自己評価表を記入してもらい、意見を取り入れながら、業務改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページに公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	今後は受けたいと思っている。
適切な	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		法人内の職員研修のほか、職員は個々に研修を重ね、質の向上を図っている
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者の皆様に前期、後期とアセスメントシートに記入してもらい、職員で会議を重ね個別支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		必要に応じて、絵カードや写真カードを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		各方面を考慮しながら、支援に必要な項目を選択し、具体的な支援内容を設定している
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		日々、話し合い、支援計画に沿った支援を心掛けている

支 援 の 提 供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	担当者が、行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	発達状況に応じて、工夫している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	○	個別の活動と集団活動を組み合わせて、毎日活動を行っている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	支援開始前に打ち合わせをしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	その日のうちに、情報共有を行っているが、次の日の朝になる場合もある。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	毎日記録を取り、支援を振り返り、改善を行っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	半年に一度モニタリングを行い見直しをしている。
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	福祉課とも連携を図っている。
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	現在は、医療的ケアの必要な児がいない。
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	現在は、医療的ケアの必要な児がいない。
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	適宜、情報共有会議を行い、相互理解を図っている。
26		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	適宜、情報共有会議を行い、相互理解を図っている。
27		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	SVの派遣、リハビリ施設への見学・助言をいただき日々の支援に当たっている。
28		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	現在は、していない。
29		(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	担当者が参加している。
30		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	個別の連絡帳へ記入したり、送迎時その日の様子を保護者へ伝えてい る。 モニタリング時期に、発達の様子や現状について報告している。

保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○	ペアレント・プログラムを国東市より委託され、法人が年に2クール行っている。 (昨年度より、コロナの為、実施できていない)
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	利用開始の際に、保護者へ説明をしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	保護者に対して、個々に説明を行っている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	送迎時や、モニタリング等で、保護者の意見を伺い、支援を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	昨年度より、コロナウイルス感染拡大防止の為、開催できていない。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	相談や申し入れがあった場合は、可能な限り対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	わくわくだよりを毎月、発行し、ホームページ等に掲載している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	十分配慮している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	個別で対応できるように、状況に応じて、配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	法人の秀溪まつり等で、地域等との交流を目指している。
非 常 時 等 の 対 応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	現在は、作成中である。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	毎月1回、避難訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	利用開始の際、他、年に2度のアセスメント等で、保護者へ受診等の確認を行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	保護者からの聞き取りで、対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	ヒヤリハットを作し、法人内でも見直している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	定期的に、虐待防止の研修会を設けている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	身体拘束に当たる行為はしていない。

保護者等向け

放課後等デイサービス評価表

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7		1	感情のコントロールが難しかったり、騒がしいのが苦手だったりする子が利用する所なので、区切られた部屋、クールダウンできる部屋、スペースがあればいいなと思う
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8			
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	3		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	8			
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	8			活動プログラムが作成されていて、今日は何をしているか把握できて良いです。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	6		今の段階で交流は難しい。あるのかもしれないが、分からない。 ※未記入1名
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8			
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8			何かあるたびに、相談にのってくれてすごく心強いです。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	2	1	コロナウイルスでできない。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			※未記入1名
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8			
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8			いきいきっ子だよりをいつも楽しみにしています。
	14 個人情報に十分注意しているか	8			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8			
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	1		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	5			いきいきっ子が大好きで月一度の開館日を心待ちにしています。 ※未記入3名
	18 事業所の支援に満足しているか	5			色々な事が起きた時にも冷静に対応していただき感謝しております。本当にありがとうございます。 ※未記入3名

(注釈)

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

.....

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員の増加に伴い、空きスペースをリフォームした。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		所々段差があり、解消されていない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			業務改善のために常に見直しを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者へアンケートを実施し、意見を取り入れながら業務改善へに繋げている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			今回が初めての公開となる。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		今後、外部評価をうけていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部、内部で研修の機会を確保している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者の方にアセスメントシートを記入していただき、参考にして計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			日々、行動観察を行い、個々に応じた対応をしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			それぞれ担当を相談しながらおこなっている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動内容が固定しないよう工夫して計画をたてている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個々に応じた目標をたて支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別、集団を適宜組み合わせサービス計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			開始前に必ず職員間で打ち合わせをしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日の支援の振り返りが行えない時もあるが、なるべくするようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか				毎日個別で記録をつけており、小さな気づきも記入している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○		時間の都合により、複数の組み合わせが難しい。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			責任者が担当者会議に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			送迎時などに情報共有をしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			今は医療ケアが必要な利用者さんはいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			利用前に保育所を訪問し情報共有をおこなった。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			対象児がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			スーパーバイザーによる助言を受ける機会を設けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後、活動機会を設けていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			管理者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			子どもの状況について、保護者に適宜伝え、共通理解をしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	現在は、コロナウイルス拡大防止の為、行っていない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			丁寧な説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの相談に応じ、必要な助言や支援をその都度行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今は、コロナウイルス拡大防止の為、行えていないが、保護者会などを開催したいと思っている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者や子供の意見を参考にし、支援の見直しを行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、おたよりを発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			十分配慮している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個別に対応している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域にある施設に訪問して交流する機会を設けている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			保護者への周知が不足。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修機会を設けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			対象者なし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		対象者なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットを作成し共有している。

保護者等向け

放課後等デイサービス評価表

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	2		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	1		長期休暇等、スタッフの負担が心配。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか		4		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	12			
	5 <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	12			
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	5	2	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12			
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	2		ノートの利用が出来たら、と思う。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	3		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	3	2	コロナで活動できず、残念。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1	2	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12			
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1		
14 個人情報に十分注意しているか	12				
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	4		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8			※未記入 4
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	8			すごく大好きです。 ※未記入 4
	18 事業所の支援に満足しているか	8			※未記入 4

(注釈)

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。



事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用者の方が増えたため、より多くの部屋があるのが理想ではある。長期休暇等には、活動内容を工夫し、今ある資源を有効に活用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適切である。 長期休暇等には、職員を増員して、利用者支援に当たった。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		より使い勝手のよいように、スロープやトイレ・手洗い場等の改善ができるとよい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			業務改善の為、常に見直しを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者にアンケートをお願いし、意向等踏まえ業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後は、受けてみたいと思っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員研修を行っている。 それぞれの職員が、進んで研修に出ている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年に2回アセスメントシートを保護者にも記入していただき、計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			個別に行動観察を行い、それぞれの対応をしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当職員がおこなっている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			その日の状況等を踏まえ、子どもの発達・成長に合わせて工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			活動内容は、利用時間、季節等を踏まえ、計画を立てている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別の活動、集団活動を組み合わせて、計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			開所前に打ち合わせを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			時間がない時は、翌日になるが必ず共有している。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日、個人日誌等の記録を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			適宜モニタリングを行い、見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○		時間が短いため複数とまではしていない。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			責任者が、担当者会議に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			保護者や学校とも話し合い、連携している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			今は、医療的ケア児はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			現在は、目事業所からの移行の利用者の方が多いが、利用前に、各園へ見学へ行ったり、様子をうかがいに行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			移行先の事業所にて、担当者会議を行った。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			リハビリ機関に見学へ行ったり、助言をいただいた。また、SVや、外部の事業所より、助言をいただく機会を設けた。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在はしていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			担当者が、参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時等に、その日の活動、学校や家での状況などをうかがうようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	コロナの影響で、開催できていない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用開始の際には、説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			○	その日の状況を伝えるだけでなく、日頃の様子もさらにうかがう必要がある。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	コロナ等の影響で、昨年度より、開催できていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			日頃から、保護者からのちょっとした意見も見逃さないようにし、次の支援への参考になっている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、いきいきっ子だよりを発行し、ホームページ等に掲載している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			十分配慮している
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々に対応できるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			秀溪まつりを何らかの形で、開催予定。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	現在作成中である
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月1回避難訓練をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			担当者が、研修会に参加し、職員全体での研修会も設けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在、身体拘束を行う必要のある子どもはいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	保護者からの聞き取りで、対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所内で共有している。

2021年度 自己評価反省

・保護者からの意見として、利用者増に伴い、支援スペースが狭くなっている点・職員の負担に関しての心配などが挙げられた。

長期休暇等には、職員を増員したり、活動スペース確保すべく、活動内容を配慮するなどして、対応してきた。

・利用者が増えたことにより、支援内容の質が下がらないよう、日々見直しながら、支援に当たっていく必要がある。

S V派遣の利用、リハビリ施設への見学、またその際に助言をいただきながら、日々の支援内容の改善を行っている。

・保護者の言葉から、その時の状況などを踏まえ、今必要としている資源などをアドバイスできるよう、日々情報収集に当たるようにしてきた。

保健師、福祉課、こども園等と連携を図りながら、保護者への対応をしている。

・建物内の、スロープの設置、幼児用のトイレや手洗い場の不足等、改修すべき箇所もあげられるが、今ある資源を有効に活用し、工夫しながら支援に当たっている。

・昨年度より、コロナの影響で、保護者の集まりに制限をかけざるを得なくなっている。今後は、コロナの状況も踏まえながら、別の形で、開催する必要がある。

自己評価反省

2021年度 7月 いきいきっ子国見

今回いきいきっ子国見として、独立しての初めての自己評価である。

保護者の方の意見から・・・

○感情のコントロールが難しかったり、騒がしいのが苦手だったりするこの為、区切られた部屋やクールダウンできる部屋、スペースがあるといい。

→利用人数の増加に伴い、空きスペースをリフォームし区切って利用できるようにしてきた。しかし、完全に区切られた部屋ではない為、今後も様子を見ていく必要がある。

○活動プログラムが作成されていて、今日は何をしているか把握できて良い。

いきいきっ子だよりを楽しみにしている。

→毎月、いきいきっ子便りを発行し、前の月の活動の様子を写真でお知らせしたり、本日の療育プログラムとして、内容だけでなく、目的もお知らせするようにした。また、活動内容が固定しないよう工夫して計画を立てている。

○開館日を心待ちにしている

→引き続き楽しい活動を準備していきたい。

その他・・・

・段差や、ドアでケガをしてしまう等、まだまだ危険な箇所もある為、改善が必要である。

・現在はコロナウイルス拡大防止の為、保護者の交流会等を行えていないが、今後、状況を踏まえながら、保護者の情報交換の場を設けたい。